

淀川水系流域委員会殿

2008. 3. 19

佐川克弘

何故河川管理者は質問に回答しないのかー京都府水需要予測ー

先に報告した通り、私は京都府の水需要予測について質問しましたが、一ヶ月経っても河川管理者の回答は未着でした。（質問内容は【資料1】参照）

すべて河川管理者が「精査確認済み」にかかわる質問です。何故回答しないのか、理解できません。

そこで京都府統計書に基づいて「京都府10市町の水道事業実績表」を作成しました。

（【資料2】）

一方京都府のH32予測値は【資料3】の通りです。

両者を比較すると河川管理者の「精査確認内容」に対する疑問がますます濃厚になりました。かい摘まんで解析してみます。

（1）人口

H8～17の10年間に3万5千人増加した。H32予測＝669千人は？？

（2）一日平均給水量と一人一日平均給水量

H8実績＝224千 m^3 →H17実績＝220千 m^3 と、人口が約6%増加したにもかかわらず約2%減少した。（自動的に一人一日平均給水量もH8＝370リットル→H17実績＝343リットル、つまり約7%も減少した。しかるに京都府のH32予測値＝367リットル。再び増加する??）

（3）一日最大給水量と負荷率

「京都府10市町の水道事業実績表」でも注記しておいた通り、正確な実績は不明なので、10市町それぞれの実績値を単純合計した。従って正確な実績は、この実績表の値よりも少ないこととなる。負荷率は、当然実績表の値よりも大きい。

このことを踏まえて対比すると、H17実績値＝254千 m^3 →H32予測値＝309千 m^3 。負荷率はH17実績値＝86.6%→H32予測値＝79.4%。
何故こんなに乖離するのか?? 需要予測を「水増し」したかったのでは??

※人口予測については京都府と国立社会保障・人口問題研究所の予測とブッチギリに乖離しています。詳しくは意見書No. 944「京都府の天ヶ瀬再開発撤退論の補足説明」を参照してください。

以上

2008. 2. 21

佐川克弘

京都府の水需要の精査確認に関する質問

- 1) 貴局はH18. 6. 25第7回利水・水需要管理部会審議資料1-1「平成17年度事業進捗状況報告」(以下状況報告という)において、京都府の水需要の“精査確認結果”を報告されました。この“精査確認結果”に基づき、天ヶ瀬再開発における京都府利水参画を是認しています。
つきましては「状況報告」p8において、①計画取水量と④整備済み浄水場との差(木津浄水場=0.3、乙訓浄水場=0.28 m^3/s)について、どのように“精査確認”されたのか。教えて下さい。
- 2) 未利用の水源0.58 m^3/s を何らかの方法で宇治浄水場で活用させれば⑨の答えは2.06 m^3/s となり、見直し需要に対する過不足量Dは0.09 m^3/s となります。
私は「何らかの方法」として琵琶湖開発で水利権を獲得済みの利水使用者と京都府との間で水利権を交換するのがよいのではないかと考えますが、この案に対する貴局の見解をお示し下さい。
- 3) 京都府に限らず一般に利水使用者の需要予測は過大になりがちです。次の項目についてどのように“精査確認”されたのか教えて下さい。
 - ア) 人口→国立社会保障・人口問題研究所の予測と何故乖離しているのか。
 - イ) 負荷率→過去10年間の実績値は？またそのトレンドと京都府が適用した負荷率(79.4%)と何故乖離しているのか？
 - ウ) 一人一日最大給水量→過去10年間の実績値は？またそのトレンドと京都府が採用した462リットルと何故乖離しているのか？
 - エ) 乙訓地区では本来京都府が企業に供給すべき工水が上水に統合されました。京都府に限らず工水は一般に水余り状態ですが、統合された上水を企業が(当初計画通り)受水すると認識していますか？
 - オ) 第72回委員会参考資料1 意見書No. 941「一年間に14億円ポロ儲けした京都府営水道」に対する貴局のご見解をお示し下さい。

以上

【資料 2】

京都府 10 市町の水道事業実績表

出典：京都府統計書

	H 8	9	1 0	1 1	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6	1 7
人 口	607	617	623	625	624	628	630	635	639	642
①	224	227	228	227	228	225	223	222	222	220
②	275	275	267	274	266	286	262	261	258	254
③	370	369	365	363	366	359	354	349	348	343
④	453	446	429	439	427	456	415	411	404	396
負荷率	81.7	82.6	85.1	82.7	85.6	78.7	85.4	85.0	86.0	86.6

注(1)人口の単位:千人

(2)①は 一日平均給水量で、単位は千 m^3 (3)②は 10 市町の一最大給水量の単純合計。単位は千 m^3

(4)③は 一人一日平均給水量で、単位はリットル

(5)④は ②÷人口、単位はリットル

(6)負荷率の単位:%、ただし単純合計した一日最大給水量を使ったため「正確な負荷率」は、上表の値よりも大きいことに要注意。

【資料 3】

京都府の 10 市町・水需要予測 (H 3 2 年度)

項 目	予測値
給水人口 千人	669
一日平均給水量 千 m^3	246
一日最大給水量 千 m^3	309
一人一日平均給水量 リットル	367
一人一日最大給水量 リットル	462
負 荷 率 %	79.4